

横河電機、5倍250人体制

操業支援 システム 来年度100件目指す

横河電機はエネルギーの効率使用を指導するエネルギー管理士を現在の50人から2010年度にも5倍の250人に増やす。工場エネルギーの見える化ニーズの高まりを受け、省エネルギー化やコスト削減を広くアドバイスできる体制を整える。工場エネルギー操業支援システム「Enerize E3」を戦略商品に位置づけて事業展開する。

エネルギー管理士は省エネや、省エネ型の制御エネルギー法に基づき、機器なども紹介する。

同システムは09年に指定管理工場で燃料や電気などの効率的な使用を監督・指導する人材。管理士が現場を診断し、改善策を提案する。同システムにとどまっているが、今

年に入って引き合いが急増しており、食品や化学

など生産量の変化が多い変種変量生産の会社を中社、FEMS（ファクトリー・エネルギー・マネジメント・システム）を展開している。パナソニックは工場の省エネに必要な技術や設備、人材、資金面の包括的支援サービス「工場まるごと省エネ」を11年度から本格展開している。

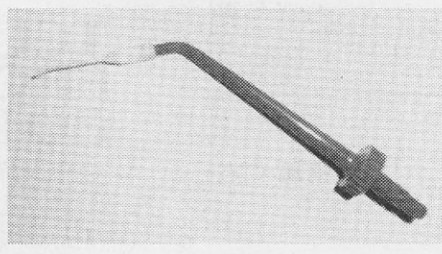


近畿車両は20日、リチウムイオン蓄電池を搭載した100%低床LRV（ライトレールビークル）車両（写真）を開発したと発表した。架線のある電化区間はパンタグラフによる集電で、架線のない非電化区間は蓄電池

歯治療の痛み緩和

柔軟にノズル先端、共同開発

サンフクロ工業



ノズル先端が歯の形に合わせて曲がる

サンフクロ工業（東京都墨田区、水戸とし子社長、03・3618・4781）は、早稲田大学の内山明彦名誉教授、日本歯科大学の玉沢修非常勤講師と共同で、歯科治療で神経を取り除いた後の歯の根元に温水や薬液を噴射して洗浄・消毒するためのテフロン製ノズルを開発した。ノズル先端が歯の形状に合わせて柔軟に曲がるため、治療

時の痛みを緩和できる。根元深くまでノズルが届き、洗浄ムラを軽減できる。新潟大学で試験し、早ければ年末にも製品化する。歯の根の中にある神経（歯髄）がある根管が細菌感染した場合、歯髄を除去する根管治療が必要になる。開発した「口腔内噴射用ノズル」は、歯のすき間の汚れ（歯石）などを水圧で洗浄する噴

射装置（ジェットウォッシュャー）のノズルの先端に取り付けて使用する。サンフクロ工業が加工したテフロン製ノズルの先端は直径約1.5mm。根管深くまでノズル先端が届き、治療で残った歯髄を高温高圧の噴流で洗い流す。個人差がある歯の根元の形状に合わせて先端が柔軟に曲がるため、根管に接触した際の痛みを軽減できる。

大手

舶用塗装工場 相次ぎ新設

大手造船メーカーが2010年度内に船舶用の塗装工場を相次いで新設する。国際連合機関の国際海事機関（IMO）が定めた塗装に関する新基準に対応する。船舶需要の縮小を受け、造船各社は

横浜市は09年4月に緑化地域制度を定め、事業所敷地面積の一定以上の緑化を義務付けた。IHIMUに限らず、横浜市に工場がある製造業はこ



市は緑化条例で簡単に建物を増やさない（IHIMU横浜工場）

IMOが06年12月に採択した「バラストタンク等塗装性能基準（PSPC）」を今年度中にも満たす必要があるからだ。IMOは海水を注入して船舶の傾斜を調整するバラストタンクにしっかりと塗装を施すことで、15年間もの長期にわたって腐食させないことを求めた。同基準は08年7月

（神戸市中央区）などが対応を完了した。住友重機械マリンエンジニアリ

NEWS 拡大鏡

の新工場を建設する。いずれも工場建屋と設備を合わせて20億円前後の投資を要することになる。船舶需要には先行き不透明感が漂っているだけに、造船各社は今年度の設備投資を抑制する計画だ。三井造船は全社の設備投資を前年度比27.9%減額。住友重機械工業は同51%も減額する。こ